

病歴番号 203015

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者	秦々枝	6才	2月	日
手術日	8年 3月 5日	手術所要時間	時間	18分
術者	男澤	助手	金田	
術前診断	Lt. inguinal hernia			
術後診断	same as above			
術式	Potts			
麻 醉	吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他()	麻酔医	高橋	
出血量	ml	輸血量	ml	輸液量



恥骨聯合の1横指上側1横指左側に2cmの皮膚切開。

皮下剝離して外臍筋輪露出。
皮下組織は薄く容易に外腹斜筋腱膜に到達。

Potts

外腹斜筋腱膜の外側の折り返しがら1cmぐら
のてこ3で、にメスにて切開を入れ。Potts法
にて臍筋輪開放。

ヘルニア囊を持ち上げ、直下にネットンラーブを通し、中軸側に剥離し、腹膜前筋膜を露出させて、モスキートにて頸部はさんで、
2-0 silkにて高位結紮。

外腹斜筋腱膜を3-0 silkにて3針縫合。
浅在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。
5-0 Vicrylにて皮下埋没縫合2針。



外臍筋輪

(財) 太田総合病院手術記録1号紙

M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無
術中写真 有・無
記載者サイン

手 術 記 錄 (I)

病歴番号 55279

(財) 太田総合病院

患者 真巻子 15才 10月 日
 手術日 8年 3月 8日 手術所要時間 時間 40分
 術者 男澤 助手 大沢
 術前診断 *Inguinal hernia*
 術後診断 same as above
 術式 Ferguson's
 麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 武藤
 出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



恥骨結合の1箇所上側1箇所左側にメスにて3cmの皮膚切開。皮下剝離し外腹斜筋腱膜に到達。精巣膨隆部にメスにて小切開加えメソンバウム剪刀にて開大。

ヘルニア囊を持ち上げ直下にキラトンテープを通し中位側へ剥離。

ヘルニア囊を開放すると内臓絶輪より未梢側で内容物は見られなかった。

ヘルニア囊を開放の未梢側は外臓絶輪を示していた。

腹膜脂肪の位置で高位結紉(2-0 silk 貨通結紉×2)、未梢側は切開・開放。



Ferguson法にて前壁補強(2-0 silk × 2)(内腹斜筋腱膜と腹後筋膜との縫合)

外腹斜筋腱膜を4針縫合(3-0 silk × 1)

2-0 silk × 3)

精巣筋膜を3-0 silkで2針縫合。

皮下脂肪を5-0 Vicrylで3針縫合

5-0 Vicrylにて皮下埋没縫合3針にて手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録1号紙

M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無
 術中写真 有・無
 記載者サイン

手術記録 (I)

病歴番号 180174

(財) 太田総合病院

患者	諒	年齢	2才	月	日
手術日	18年 3月 8日	手術所要時間		時間	50分
術者	男澤	助手	金田		
術前診断	<i>Inguinal hernia associated with funicular hydrocele.</i>				
術後診断	<i>same as above</i>				
術式	<i>Lucas - Champonnière</i>				
麻酔	吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他()	麻酔医	高橋		
出血量	ml	輸血量	ml	輸液量	ml



恥骨結合の1横指上側1横指左側に2cmの皮膚切開、皮下制離し、外腹斜筋腱膜及び外筋膜輪露出

Lucas - Champonnière 法にて精巣管開放。
ヘルニア囊を持ち上げ、キラトンテープを通り中枢側へ制離。
ヘルニア囊を開放すると内筋膜輪より末梢側で内容物は見られなかった。

ヘルニア囊の末梢側は外筋膜輪をこえていた。

ヘルニア囊を離断し、ヘルニア囊の断端をモスキートで把持し持ち上げ、精巣を含んだ結合組織の制離し、臍脂肪の位置で高位結紉。(この辺で、ヘルニア囊は薄く、切れやすかった。高位結紉は3-0 black silk ×2, ~~3-0 silk~~ にて員通結紉×2, ~~3-0 silk 単純結紉×1~~)

ヘルニア囊の末梢側は外筋膜輪をこえた所で盲端となっていた。糸状構造物を精巣に気をつけながら開いていくと、水腫が認められたため開放した。それからたどっていって、精巣にまで制離をするため、水腫は大きな1コのみだった。

外腹斜筋腱膜を3-0 silkにて4針縫合

浅筋膜を3-0 silkにて1針縫合
5-0 Vicrylにて皮下埋没縫合3針し、手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録
180174

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

M
2
0
0
1

病歴番号 187707

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者	理恵	年齢	2才	月	6	日
手術日	8年3月15日	手術所要時間	時間 18分			
術者	男澤	助手	大沢			
術前診断	rt. inguinal hernia (右側発生) (前回 H7.11/17 手術)					
術後診断	same as above.					
術式	Potts					
麻酔	吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他()	麻酔医	高橋			
出血量	ml	輸血量	ml	輸液量		



前回手術瘢痕.

恥骨結合の左1横指上側、一横指右側に2cmの皮膚切開。

皮下剝離し外臍筋輪露出。

角筋管開放しヘルニア囊持ち上げ、直下にネットーフ通した。



ヘルニア囊の末梢側は外臍筋輪を巻きこえていた。

中枢側に剥離し、ヘルニア囊を開放すると、大網が認められたため、鋸子にて臍腔内に還納し、~~モスキー鉗子~~で高位結紉(2-0 silk 褐面轉革×2)。末梢側開放後還納。

外腹斜筋腱膜を3-0 silkにて3針縫合。

筋膜在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。

5-0 Vicrylにて皮下埋没縫合し手術終了。

(財)太田総合病院手術記録
1号紙M
2001
特記事項病理標本 有・無
術中写真 有・無
記載者サイン

病院番号 203619

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 手術日 年 月 日
 患者 2才 9月 日
 手術日 8年 3月 15日 手術所要時間 時間 18分
 術者 男澤 助手 大沢
 術前診断 *pt. inguinal hernia*
 術後診断 same as above
 術式 Potts
 麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋
 出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



恥骨結合の1横指上側1横指を側に2cmの皮膚切開。

皮下剥離し外筋膜輪露出。

精巣管開放してヘルニア嚢を持ち上げ直下にキラトンテープ通した。

中枢側に剥離しヘルニア嚢開放。

ヘルニア嚢末梢側は外筋膜輪を追って外筋膜輪離断し、中枢側を持ち上げ周囲の特命組織を剥離し高位結紉(2-0 silk 置換紉)

主筋開放し止血確認した後還納。

外筋膜筋膜 3-0 silk にて3針縫合。

浅在筋膜を 3-0 silk にて1針縫合。

5-0 Vicryl にて皮下埋没縫合2針。

*加え手術終了。

(財)太田総合病院手術記録
1号紙

M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

病歴番号 50708

手 術 記 錄 (I)

(財) 太田総合病院

患 者 佑平

6 才 1 月 日

手術日 8 年 3 月 19 日

手術所要時間 時間 28 分

術者 男澤 助手 金田

術前診断 rt. inguinal hernia

術後診断 rt. inguinal hernia

rt. funicular hydrocele

術式 Potts

麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 武藤

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



恥骨結合の 1 横指上側 1 横指右側に 2 cm の皮膚切開。

皮下剥離し 外腹斜筋腱膜に到達。

尾嚢窓膨隆部にメスにて 小切開、コッヘルにて
開大、メッシュエンバウムにて 切開広げ、ヘルニ
ア囊持ち上げ、直下にキラトンテープ[®] 繋じた
中枢側に剥離。

ヘルニア囊開放後、~~縫合~~してみるとこの部
分は cyst を形成している。(中枢側:盲端)
(hydrocele と考えられるが内~~壁~~

脛(液は認められなかった)。
ヘルニア囊開放する。腹腔内

との交通が認められた。(Intraoperative
findings)

ヘルニア囊離断し、中枢側頸部にて高位
結紩、末梢側をたどってその他に水腫みつ
からず。ヘルニア囊断端還納し、外腹斜筋腱
膜を 3-0 silk にて 3 针縫合。

浅筋膜を 3-0 silk にて 1 针縫合。

5-0 Vicryl にて 皮下埋没縫合 2 针
かぶ入。手術終了。

（財）太田総合病院手術記録 I 号紙

M 2001

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

手 術 記 錄 (I)

(財) 太田総合病院

病歴番号 20201

患 者 受

女 才 11 月 日

手術日 8 年 3 月 19 日

手術所要時間 時間 14 分

術者 男澤 助手 大沢

術前診断 rt. inguinal hernia

術後診断 same as above

術 式 Potts

麻 醉 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋

出 血 量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml

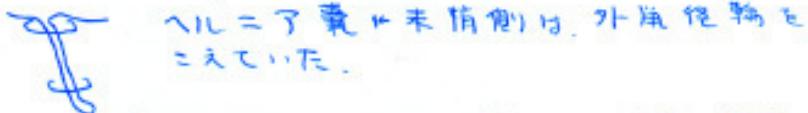


恥骨結合の 2 横指右側、1 横指上側に 2 cm の皮膚 ~~縫合~~ 切開。

皮下剥離し外腹斜筋腱膜に到達。
精巣管膨隆部にメスにて小切開加え、コッヘルにて鈍的に開大し、マツエンバウムにて切開を広げた。
ヘルニア囊持ち上げ、直下にキラトンテープ[®]を置いた。
中軸側へ剥離してから、ヘルニア囊開放。

ヘルニア囊内に大網・卵巣などを辨認され
がった。それから、2-0 silk にて高位結紮（胃
通結紮×2）

末梢側開放し、還納。



ヘルニア囊より末梢側は外腹斜筋腱膜を

こえていた。

外腹斜筋腱膜を 3-0 silk にて 3 針縫合

浅在筋膜を 3-0 silk にて 1 針縫合

5-0 Vicryl にて皮下埋没縫合 $\frac{2}{3}$ 針加
え手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録 1 号紙

M 2001

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

病歴番号 203354

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者 龍平 3才 4月 日
 手術日 8年 3月 19日 手術所要時間 時間 27分
 術者 男澤 助手 金田
 術前診断 rt. inguinal hernia
 術後診断 same as above
 術式 Lucas-Championiere
 麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋
 出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



恥骨結合の1横指上側1横指右側に2cmの皮膚切開。
 皮下剝離して外臍筋輪露出し Lucas-Championiere 法にて臍筋輪開放。
 ヘルニア嚢持ち上げ直下にキラトンテープを通した。
 中枢側へ剥離しヘルニア嚢を開放~~せず~~。
 ヘルニア嚢を離断し中枢側のヘルニア嚢を持ち上げ高位結紮(2-0 silk 1重結紮×2)
 未梢側を電気メスにて開放。



ヘルニア嚢の未梢側は外臍筋輪を~~こ~~えていた。

ヘルニア嚢断端を還納し外腹斜筋膜膜を3-0 silkにて3針縫合。
 浅在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。
 5-0 Vicrylにて皮下埋設縫合3針加え手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録
1号紙

M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無
 術中写真 有・無
 記載者サイン

病歴番号 54780

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 真唯子 6才 11月 日
 手術日 8年 3月 22日 手術所要時間 時間 18分
 術者 男澤 助手 金田
 術前診断 rt. inguinal hernia
 術後診断 same as above
 術式 Potts
 麻酔 静吸・静脈内・腰麻・硬麻・伝連・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋
 出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml

恥骨結合の1横指上側1横指+右側に2cmの皮膚切開。
 皮下剥離し外臍筋輪を露出。
 尖端部にメスにて小切開→コッヘルにて開大。
 ヘルニア囊を持ち上げ直下にキラトンテープを通した。
 ヘルニア囊を中枢側に剥離し腹膜前脂肪露出。
 ヘルニア囊開放せず、腹膜前脂肪の位置で高位結紉(2-0 silk 1個通結紉×2)
 外臍筋輪未梢側開放し還納。
 外腹斜筋腱膜を3-0 silkにて3針縫合。
 浅在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。
 皮下埋没縫合(5-0 Vicryl ×2)にて手術終了。



(財)太田総合病院手術記録1号紙

M 2001

特記事項

病理標本 有・無
 術中写真 有・無
 記載者サイン

病歴番号 196997

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者 悠貴 8才 9月 日

手術日 8年 3月 22日 手術所要時間 時間 38分

術者 男澤 助手 金田

術前診断 L. inguinal hernia

術後診断 same as above

術式 Potts

麻 醉 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量



外側端

恥骨結合の1横指上側1横指左側にメスにて
2cmの皮膚切開。
皮下脂肪離し、外腹斜筋膜膜に到達。
メスにて脂肪管に小切開加入、開大し脂肪管開放。
ヘルニア囊を持ち上げ、直下にドラトンテープ面した。
ヘルニア囊開放して離し切る。
中枢側を持ち上げて、腹腔前脂肪の位置で
高位結紮。
末梢側開放し、還納。
外腹斜筋膜膜 3-0 silk にて3針縫合。
浅在筋膜 3-0 silk にて1針
皮下埋没縫合 (5-0 Vicryl × 2)
にて手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録
1号紙M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無
術中写真 有・無
記載者サイン

病歴番号 179136

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 敏樹

1才 4月 日

手術日 8年 3月 22日

手術所要時間 時間 19分

術者 男澤 助手 大沢

術前診断 L. inguinal hernia

術後診断 same as above

術式 Potts

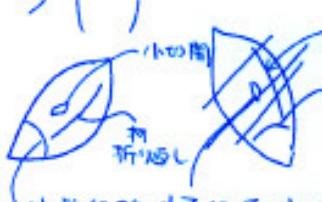
麻酔 麻酔吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝連・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量



恥骨結合の1横指上側1横指左側にメスにて2cmの皮膚切開。

皮下剝離して外角径輪直上に達した。ヘルニア囊の末梢側は、外角径輪をこえていた。



外角径輪メスにて小切開
折り返し 左回の通り筋膜管の膨隆部に
メスにて小切開。
コッヘルにて開大。

ヘルニア囊持ち上げ直下にキラトンテープ通した。

中枢側に剥離しヘルニア囊開放、離断して中枢側にて高位結紉(2-0 silk 罫通結紉×2)

末梢側開放し還納。

外腹斜筋腱膜 3-0 silk 3針縫合。

浅在筋膜1針縫合

皮 5-0 Vicryl 皮下埋没縫合2針にて手術終了

(財)太田総合病院手術記録1号紙

M 2001

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

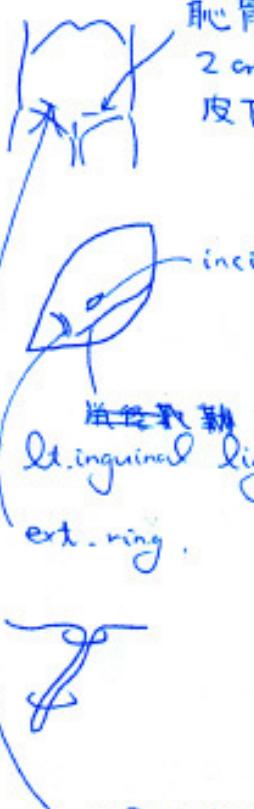
病歴番号 138146

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者	愛	6才	男	日
手術日	8年 3月 26日	手術所要時間	時間	11分
術者	易澤	助手	大沢	
術前診断	Lt. inguinal hernia			
術後診断	same as above			
術式	Potts			
麻酔	吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他()	麻酔医	野崎	
出血量	ml	輸血量	ml	輸液量

脐骨結合の1横指上側1横指を側にメスにて
 2cmの小切開。
 皮下剥離して外臍後輪露出。
 腹膜膨脹隆部にマスにて小切開、コッヘル
 にて開大。
 ヘルニア囊持ち上げ直下にネットンラーフ
 通し、中枢側へ剥離し、腹膜前脂肪
 露出。
 ヘルニア囊開放し、腹膜前脂肪
 の位置を高位持す。(2-0 silk 留通性糸×2)
 本梢開放し還納。
 外腹斜筋腱膜を3-0 silk 3針縫合。
 浅在筋膜を3-0 silk にて1針縫合。
 皮下埋没縫合(5-0 Vicryl × 2)
 にて手術終了。



 H8.1/26 当科にて手術。
 (rt. inguinal hernia o.t.a)

特記事項	病理標本	有・無
	術中写真	有・無
	記載者サイン	

病歴番号 116903

手 術 記 錄 (I)

(財) 太田 総合 病院

患 者	祥子	6 才	月	日
手術日	8 年 3 月 26 日	手術所要時間	時間	23 分
術 者	男澤	助手	金田	
術前診断	a. inguinal hernia.			
術後診断	same as above			
術 式	Potts			
麻 醉	吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他()	麻酔医	野崎	
出 血 量	ml	輸血量	ml	輸液量



恥骨結合の1横指上側1横指左側にメスにて2cmの皮膚切開。

皮下剝離し 外腹斜筋膜脛に到達。

角椎窓にメスにて小切開、コッヘルにて開大ヘルニア囊持ち上げ、直下にネットンラーブ通し、中軸側へ剥離し、腹膜前脂肪露出。ヘルニア囊開放し、内を清脱した内容物がないことを確認して、腹膜前脂肪の位置で高位結紉。末梢側開放し還納。外腹斜筋膜脛を3-0 silkにて3針縫合。浅在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。5-0 Vicrylにて皮下埋没縫合2針にて手術終了。

病歴番号 50932

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 彩花

9才 月 日

手術日 8年 3月 26日

手術所要時間 時間 18分

術者 男澤 助手 金田

術前診断 *lt. inguinal hernia*術後診断 *same as above*術式 *Potts*

麻酔 鮫入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 丹野

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量



恥骨結合の1横指上側1横指左側にメスにて
2cmの皮膚切開。

皮下剝離し、外臍筋輪露出。(ヘルニア囊の未梢側
は外臍筋輪をこえていた。)

左図のように臍後管にメスにて小切開、コッヘル
にて開大。

ヘルニア囊持ち上げ、直下にキラトンテープ通し、中
枢側へ剥離し、腹膜前脂肪
露出。



lt. inguinal ligament

ext. ring.

ヘルニア囊開放し、腹膜前脂肪
の位置で高位縫合(2-0 silk
貫通持糸×2)

未梢開放し還納。

外腹斜筋膜を3-0 silkにて3針縫合。

浅在筋膜を3-0 silkにて1針縫合。

皮下埋没縫合(5-0 Vicryl ×2)

にて手術終了。

(財)太田総合病院手術記録
1号紙

M
2
0
0
1

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

手術記録 (I)

病歴番号 77760

(財) 太田総合病院

患者 質

5才 5月 日

手術日 8年 3月 29日

手術所要時間 時間 42分

術前診断 3月 29日 術者 男澤 助手 大沢 時間 62分
bkt. inguinal hernia

術後診断 same as above

術式 Potts 腹膜 3-0 silk 3針縫合

麻 醉 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



(右側)

外表より外臍筋輪確認し、恥骨結合の1横指上側2横指右側に2cmの皮膚切開。



ext. ring.

皮下剝離し、外臍筋輪確認。このてモ、右側のヘルニア嚢は外臍筋輪を越えていた。

左図のように、臍筋管膨隆部にメスにて小切開入り、コッヘルにて開大し抱持(メスにて小切開 経管開放)

ヘルニア嚢を持ち上げ直下にキラトーテープ通し
中指側へ剥離。腹膜前脂肪露出
ヘルニア嚢開放して sliding した構造物がない
ことを確認してから、腹膜前脂肪の位置で
高位持牽(3-0 silk 異通持牽×1、単持持牽)
半梢開放。ヘルニア嚢は全体に肥厚がみられた。

外臍斜筋腱膜を3-0 silk にて3針縫合。
浅左筋腱膜を3-0 silk にて1針縫合。



(左側) 外表より ext. ring 確認し、その直上に2cmの皮膚切開入り、皮下剝離し、外臍筋輪露出。
左側も、ヘルニア嚢の末梢側は、外臍筋輪をこえていた。左図のように、臍筋管開放してから、ヘルニア嚢を持ち上げると、右側より小さかった。

手術記録(1)

医師用

手術記録(II)

(財)太田綜合病院

病歷番号 77760

患者

脇

5才

5月

日

42

手術日

8年

3月29日

手術所要時間

時間 42分

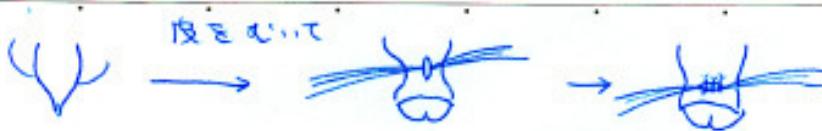
ヘルニーハイドロセウムを開放しても腹膜はみられなかった。
 腹膜前脂肪の位置で高位結紉 (4-0 silk 星通半打
 納×1, 単純結紉×1) above
 左側を開放すると、右側と同様に肥厚がみられた。
 外腹斜筋腱膜を 3-0 silk にて 3針縫合。
 浅在筋膜を 3-0 silk にて 1針縫合。
 5-0 Vicryl にて皮下埋没縫合 (左 2針, 右 3針)

病歴番号 91246

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 裕貴 7才 2月 日
 手術日 8年 3月 29日 手術所要時間 時間 15分
 術者 男澤 助手 大沢
 術前診断 包茎
 術後診断 同上
 術式 形成術
 麻酔 吸入 静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋
 出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



上図のうえに長軸方向に5mmの切開を加えて、モスキートにて縦軸方向に引きながら、Vicryl 5-0 にて3針縫合。

これを図の①, ②, ③に順に行って、手術終了。

(財)太田総合病院手術記録1号紙

M 2001

特記事項

病理標本 有・無
 術中写真 有・無
 記載者サイン

病歴番号 155934

手術記録(I)

(財)太田総合病院

患者 兔平

2才 4月 日

手術日 8年 4月 12日

手術所要時間 時間 51分

術者 男澤 助手 大沢

術前診断 Lt. undescended testicle

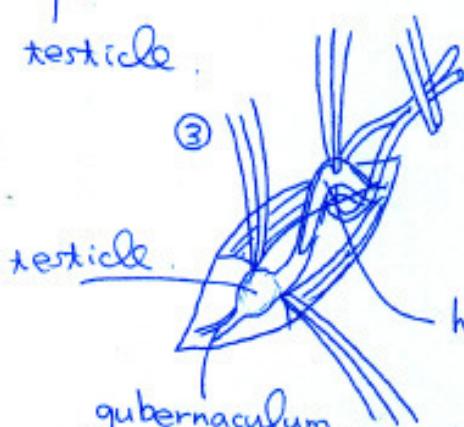
術後診断 same as above (左精巣 7×14mmで低形
成で導入された。)術式 Inguinal orchioepexy (精巣固定の際に tension
はかかるがた。)

麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 高橋

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



testicle



（財）太田総合病院手術記録1号紙

M 2001

① 息骨結合の2横指上側、2横指左側より皮膚切開線に沿って3cmの皮膚切開を加えた。

高位精索をした後に、ヘルニア囊とその直下の精索動静脉・精管との剥離を行いやすくするように、ソケイヘルニアの手術の際よりも、高い位置に皮膚切開を加えた。

一要するに 内臓径輪により近い位置まで切開した

② 皮下剥離して外腹斜筋腱膜に到達して、外臓径輪を確認すると、そのすぐ未梢側に精索が認められた。

まず、精索を開放するために、外腹斜筋腱膜にメスにて小切開を加えた。それから、メッシュンハウゼンにて中枢側に切開を右へ。それから、未梢側に切開を左へ。外臓径輪を開放

特記事項

病理標本 有・無

術中写真 有・無

記載者サイン

H. 7. 10. 3×25×80 (石版紙)

手 術 記 錄 (II)

病歴番号 155934

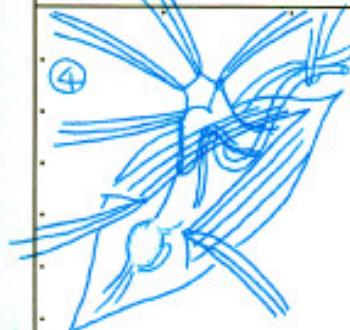
(財) 太田 総合 病院

患 者 亮平

2 才 4 月 日

手 術 日 8 年 4 月 12 日

手 術 所 要 時 間 時 間 51 分



精巣を開放するとヘルニア嚢(と思われる)が認められたため、その部分を鋏子にて持ち上げ、直下にネラトンテープを通した。

さらにヘルニア嚢と周囲組織との剥離を進める中、ヘルニア嚢自身とキラトンテープの間に精巢拳筋と考えられる筋膜塊東が認められたため、ヘルニア嚢直下にネラトンテープをかけ直した。

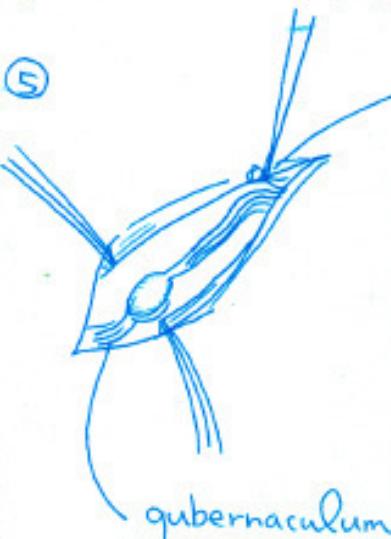
ヘルニア嚢を開放しても、内腔は狭く、ヘルニア嚢自体も非常に薄かった。ヘルニア嚢の末梢側は外角後輪に届いていなかった。

ヘルニア嚢を離断して、中枢側を持ち上げながら、膀胱前脂肪の位置で高位結紮。

このとき、高位結紮の糸を残しておいて高位精管部を持ち上げながら、精管から剥離した。これにより、精管及び精巢動脈静脈をフリーにして、精巢を陰囊に引き下げる際に有利に働く。

(財) 太田総合病院手術記録2号紙

M
2
0
0
2



high ligation

高位結紮の位置よりさらに 1cm 程度高い位置まで剥離。

精巣導管の切離に際しては、精管のまわり込みに注意しながら、電気メスにて切離。

手 術 記 錄 (II)

病歴番号 155934

(財) 太田総合病院

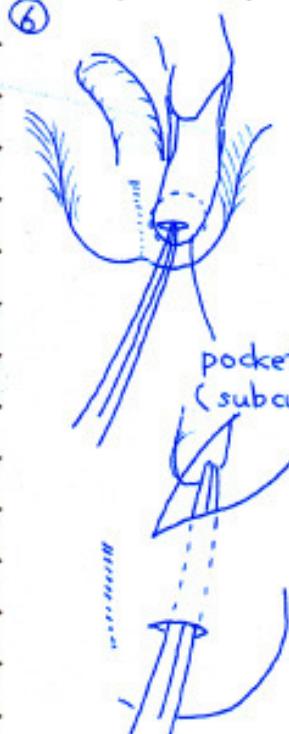
患 者 亮平

2 才 4 月 日

手術日 8 年 4 月 12 日

手術所要時間 時間 51 分

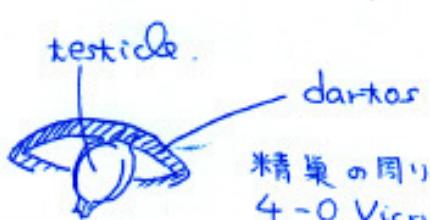
⑥



左図の位置にメスにてオ小切開 加え、モスキート鉤子を用いて皮下にポケットを作った。
臍後部より指を陰嚢のうに向けて左手の人差し指を通じて、dartsos を通して、皮膚切開部に指ができるようにした。

電気メスにて、さらに dartsos を切開し、ペアン鉤子を図のように今袋に当てたまゝ、ペアンを差し込んで、臍後部の開放部に出した。

ペアンの先端で精巣の外側の結合組織を把持して、陰嚢の切開に引き下ろした。



精巣の周りの結合組織にます。
4-0 Vicryl をかけて、それから dartsos にかけれた。
これを、精巣が感じられないよう、3カ所行い、精巣の皮下ポケットへの固定を完了した。

陰嚢切開部は 4-0 Vicryl にて 4針縫合。
外腹斜筋膜を 3-0 silk にて 3針縫合。
浅在筋膜を 3-0 silk にて 1針縫合。
5-0 Vicryl にて埋没縫合 3針にて手術終了。

病歴番号 203695

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者 有希

1才 3月 日

手術日 8年 5月 10日

手術所要時間 時間 18分

術者 男澤 助手 近藤

術前診断 rt. inguinal hernia

術後診断 same as above

術式 Potts

麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝導・浸潤・表面・その他() 麻酔医 篠田

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



左側の位置に 2cm の皮膚切開。
皮下組織して外腹斜筋腱膜に到達。
直角に直腸隆起にメスにて小切開加えコッヘル
にて開大(直角直腸開放)
ヘルニア囊を持ち上げ直下にキラトン通し中軸
側へ剥離し腹膜前脂肪露出。

ヘルニア囊開放(卵管の sliding は認められなかった)
ヘルニア囊の末梢側は外直筋輪を超えていた

腹膜前脂肪の位置で高位結紉(2-0 silk
單通鉤针×2)
末梢側開放。

外腹斜筋腱膜縫合(3-0 silk × 3)

浅在筋膜縫合(3-0 silk × 1)

皮下埋没縫合(5-0 Vicryl × 3)

にて手術終了。

(財) 太田総合病院手術記録1号紙

M 2 0 0 1 特記事項

病理標本 有・無
術中写真 有・無
記載者サイン

病歴番号 204943

手術記録 (I)

(財) 太田総合病院

患者 鈴木

才 8 月 日

手術日 8年 5月 8日

手術所要時間 時間 22 分

術者 男澤 助手 近藤

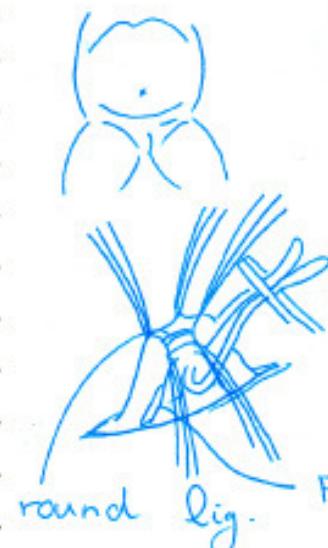
術前診断 Lt. inguinal hernia

術後診断 same as above

術式 Potts

麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 白岩

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量 ml



左回の位置に 2cm の皮膚切開

皮下剥離し外腹斜筋腱膜に到達

精索管膨隆部にメスにて小切開加え
コッヘルにて開大(精索管開放)

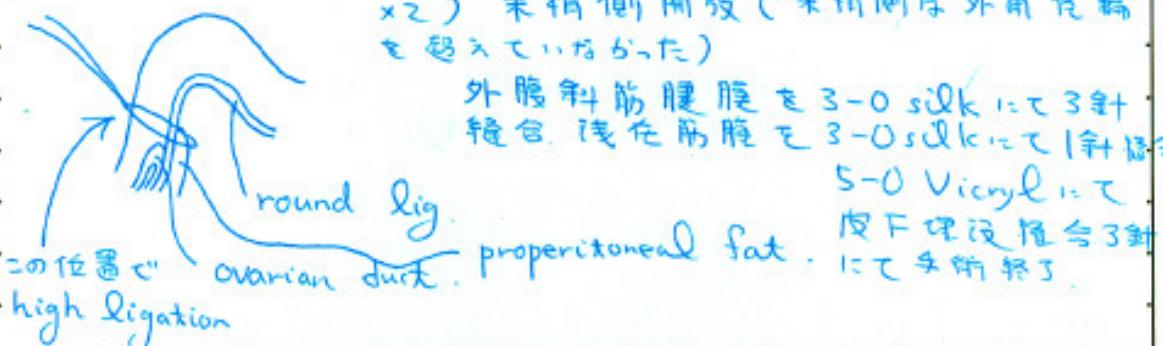
ヘルニア囊持ち上げ直下にキラトンを通して
中枢側へ剥離。腹腔前脂肪露出。
ヘルニア囊開放して、円筋革を引いて
腹腔脂肪のすぐ中枢側に卵管が認められた。

properitoneal fat.

silk

左回の位置で高位結紮(2-0 尼通結紮
×2) 未梢側開放(未梢側は外精索管
を超えていなかった)

外腹斜筋腱膜を 3-0 silk にて 3針
縫合。浅在筋膜を 3-0 silk にて 1針縫合
5-0 Vicryl にて

皮下埋没縫合 3針
にて手術終了(財) 太田総合病院手術記録
1号紙M
2
0
0
1
特記事項病理標本 有・無
術中写真 有・無
記載者サイン

H. 7.5.3 × 25 × 40 (石橋納)

手術記録(I)

(財)太田総合病院

病歴番号 69711

患者 雅樹

10才 10月 日

手術日 8年 5月 21日

手術所要時間 時間 55分

術者 男澤 助手 近藤

術前診断 blt. hydrocele

術後診断 patent vaginal process

術式 rt; Potts

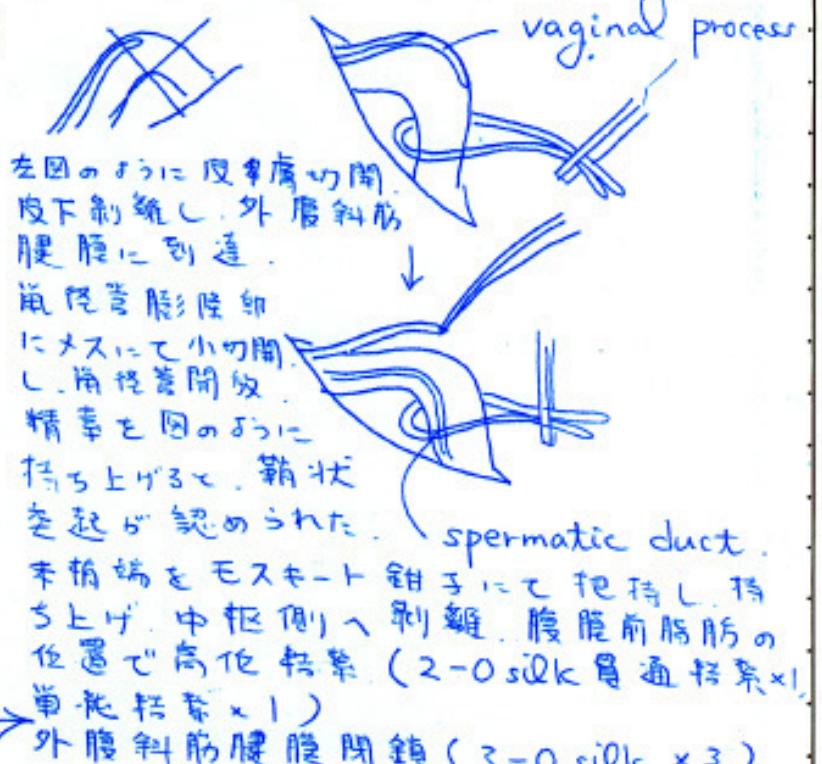
lt; Lucas-Championniere

麻酔 吸入・静脈内・腰麻・硬麻・伝達・浸潤・表面・その他() 麻酔医 野崎

出血量 ml 輸血量 ml 輸液量



右側:



精索を引き上げて dartos fascia を切開するが、
hydrocele は認められなかった。

表在筋膜閉鎖
(3-0 silk ×1)
皮下埋没縫合
(5-0 Vicryl ×3)

手術記録(II)

病歴番号 69711

(財)太田総合病院

患者 雅樹

10才 10月 日

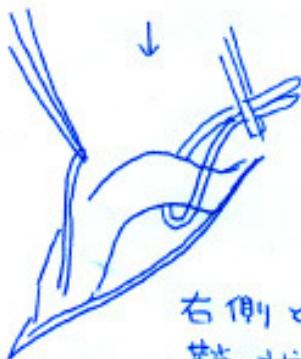
手術日 8年 5月 21日

手術所要時間 時間 55分

左側：



vaginal process.

外角筋輪より中軸側へ
2cm 切開し、膣管を開放

右側と同様に精索を持ち上げると、
鞘状突起が認められた。
持ち上げて腹膜前脂肪の位置で
高位結紮 (2-0 silk × 2)。

精巢を引き上げて dartos fascia を
切開するが、hydrocele は認められな
かった。

外腹斜筋腱膜開鎖 (3-0 silk × 3)
浅在筋膜開鎖 (3-0 silk × 1)

皮下埋没縫合 (5-0 Vicryl × 3)
にて手術終了。

大澤 義弘（おおさわ よしひろ）先生
近藤 公男（こんどう きみお）先生
金田 聰（かなだ さとし）先生
医者として、新米外科医として
ゼロの状態から面倒を見ていただき、
本当にありがとうございました。

9

大澤 旭町
様 いすゞメーラーザ
406 2-1-3

財団法人 太田 総合 病院

附属 太田西ノ内病院

〒963 福島県郡山市西ノ内2丁目5番20号
電話（代）(0249)25-1188

近藤公男

平成 9年1月20日